

# 「人のため」の事業を

神戸

ノーベル平和賞 ユヌス氏が講演 次代への責任訴え

持続可能な開発のため  
の教育(ESD)を考え  
る「ESDシンポジウム  
イン 神戸」の第二日

が八日、神戸・ポートア  
イルランドの神戸国際会議  
場で開かれ、バングラデ  
シユの貧困層を救う活動

を続けるムハマド・ユヌ  
ス氏らが講演した。

ユヌス氏は一九四〇年  
生まれの経済学者。八三  
年、貧困層のためにマイ  
クロクレジット(無担保  
小口融資)を行うグラミ  
ン(村落)銀行を創設。  
二〇〇六年にノーベル平  
和賞を受けた。

球を次の世代に渡さなけ  
ればならない」と締めく  
くった。

続いて、神戸ゆかりの  
社会運動家・賀川豊彦に  
ついて語った神奈川県立  
保健福祉大の阿部志郎名  
誉学長は「協同組合や貧

困者への貸し付けなど、  
賀川の取り組みもまさに  
ソーシャルビジネス」と  
し、「ユヌス氏、賀川の二  
人とも、コミュニティー  
をどう形成するかが活動  
のテーマになっている」  
と指摘した。(河尻 悟)



ソーシャルビジネスの可能性などについて語る

ユヌス氏 神戸市中央区港島中町6

講演で、農村の貧しい  
女性に小口融資を始めた  
ころを振り返ったユヌス  
氏は「通常のビジネスは  
最大の利益を追求するの  
が命題」と指摘。「私は  
人のためになるビジネス  
を、ソーシャルビジネス  
と呼んでいる」とし、「よ  
り安全で、より美しい地